

## 令和4年就業構造基本調査結果（鳥取県）要約

就業構造基本調査は、国民の就業・不就業の実態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に、昭和31年から昭和57年まではおおむね3年ごと、昭和57年以降は5年ごとに実施しています。令和4年調査で18回目となります。

令和4年調査は、全国の約54万世帯（鳥取県8,460世帯）にふだん住んでいる15歳以上の世帯員約108万人（鳥取県：約17,000人）を対象に、令和4年10月1日現在で実施しました。

### 結果の要点

#### 1 15歳以上人口の就業状態

- ・有業者数は284,300人で、男女別にみると男性が150,000人、女性が134,300人であった。5年前に比べ、男女ともに減少し、全体で5,300人の減少となった。
- ・有業率は59.7%で、男女別にみると男性は66.6%、女性は53.5%であった。5年前に比べ男性は同水準、女性は1.6ポイント、全体で0.9ポイント上昇した。
- ・生産年齢人口（15～64歳）の有業率は79.8%で、5年前に比べ、男性は1.7ポイント、女性は3.0ポイント、全体で2.3ポイント上昇した。
- ・55歳以上の有業者の割合は41.0%で、5年前に比べ、男性は0.8ポイント低下し、女性は1.4ポイント、全体で0.4ポイント上昇した。

#### 2 就業を取り巻く状況

- ・雇用者に占める「正規の職員・従業員」の割合は64.9%で、男女別にみると男性は78.1%、女性は51.5%となっている。5年前に比べ、男性は1.1ポイント低下、女性は1.4ポイント、全体で0.4ポイント上昇した。
- ・産業別の「正規の職員・従業員」で、5年前に比べ最も増加したのは「医療・福祉」で、1,900人（1.0ポイント）の増加となった。
- ・「育児」をしている者の有業率は93.4%で、5年前に比べ6.7ポイント上昇し、全ての年齢階級で上昇した。
- ・「介護」をしている者の有業率は59.6%で、5年前に比べ2.2ポイント上昇し、「45～54歳」で12.4ポイント上昇し、「30歳未満」で71.4ポイント低下した。
- ・夫婦共働き世帯の割合は54.6%で、5年前に比べ0.3ポイント低下した。

#### 3 主要指標の全国比較

- ・15歳以上の有業率は59.7%（全国60.9%）で全国を下回ったが、全国順位は第23位と前回（24位）を上回った。一方、女性は53.5%（同53.2%）で全国を上回ったが、順位は第15位と前回（12位）を下回った。
- ・生産年齢人口（15～64歳）の有業率は79.8%（同78.3%）で全国を上回り、順位も第10位と前回（11位）を上回った。
- ・55歳以上の有業者の割合は41.0%（同41.0%）で同水準であったが、すべての年齢階級で上回った。
- ・雇用者に占める「正規の職員・従業員」の割合は64.9%（同63.1%）で全国を上回り、順位も第11位と前回（13位）を上回った。
- ・「育児」をしている者の有業率は93.4%（同85.2%）で全国を上回り、順位は前回の7位から第1位となった。
- ・「介護」をしている者の有業率は59.6%（同58.0%）で全国を上回ったが、順位は第12位と前回（12位）と同じであった。
- ・夫婦共働き世帯の割合は54.6%（同50.9%）で全国を上回ったが、順位は第11位となり前回（7位）を下回った。

調査結果の概要

1 15歳以上人口の就業状態

有業率を5年前と比べると、全体で0.9ポイント上昇し、男女別に比べると、男性は同水準、女性は1.6ポイント上昇した。

有業率を全国と比べると、全体で1.2ポイント下回り、男女別に比べると、男性が2.5ポイント下回り、女性が0.3ポイント上回った。  
(「調査結果」1ページ)

表1 男女別・就業状態別15歳以上人口及び有業率—平成29年、令和4年(県及び全国)  
(千人、%、ポイント)

|       |    | 鳥取県     |       |       |             | 全国        |          |          |             |
|-------|----|---------|-------|-------|-------------|-----------|----------|----------|-------------|
|       |    | 15歳以上人口 |       |       | 有業率         | 15歳以上人口   |          |          | 有業率         |
|       |    | 有業者     | 無業者   | 有業者   |             | 無業者       |          |          |             |
| 令和4年  | 総数 | 476.3   | 284.3 | 192.0 | <b>59.7</b> | 110,195.2 | 67,060.4 | 43,134.8 | <b>60.9</b> |
|       | 男  | 225.2   | 150.0 | 75.2  | <b>66.6</b> | 53,134.7  | 36,706.2 | 16,428.5 | <b>69.1</b> |
|       | 女  | 251.1   | 134.3 | 116.8 | <b>53.5</b> | 57,060.5  | 30,354.2 | 26,706.2 | <b>53.2</b> |
| 平成29年 | 総数 | 492.2   | 289.6 | 202.7 | 58.8        | 110,976.7 | 66,213.0 | 44,763.7 | 59.7        |
|       | 男  | 232.3   | 154.7 | 77.6  | 66.6        | 53,542.9  | 37,074.1 | 16,468.8 | 69.2        |
|       | 女  | 260.0   | 134.9 | 125.0 | 51.9        | 57,433.9  | 29,138.9 | 28,294.9 | 50.7        |
| 増減    | 総数 | -15.9   | -5.3  | -10.7 | <b>0.9</b>  | -781.5    | 847.4    | -1,628.9 | 1.2         |
|       | 男  | -7.1    | -4.7  | -2.4  | <b>0.0</b>  | -408.2    | -367.9   | -40.3    | -0.1        |
|       | 女  | -8.9    | -0.6  | -8.2  | <b>1.6</b>  | -373.4    | 1,215.3  | -1,588.7 | 2.5         |

2 年齢階級別有業率

年齢階級別を5年前と比べると、全体で0.9ポイント、「30～34歳」が7.3ポイント上昇し、「40～44歳」が2.2ポイント低下した。

全国と比べると、全体で1.2ポイント下回り、年齢階級別にみると「30～34歳」が6.1ポイント上回り、「15～19歳」で4.7ポイント下回った。

生産年齢人口(15～64歳)の有業率を5年前と比べると、全体で2.3ポイント上回り、全国と比べると1.5ポイント上回った。

(「調査結果」2ページ)

表2 年齢階級別有業率—平成29年、令和4年(県及び全国)

(%、ポイント)

|                | 鳥取県         |       |             | 全国          |       |            | 県—全国<br>(R4—差) |
|----------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------|------------|----------------|
|                | 令和4年        | 平成29年 | 増減          | 令和4年        | 平成29年 | 増減         |                |
| 総数             | <b>59.7</b> | 58.8  | <b>0.9</b>  | 60.9        | 59.7  | 1.2        | -1.2           |
| 15～19歳         | 13.5        | 12.2  | 1.3         | 18.2        | 17.4  | 0.8        | <b>-4.7</b>    |
| 20～24歳         | 71.7        | 69.0  | 2.7         | 69.6        | 68.6  | 1.0        | 2.1            |
| 25～29歳         | 90.2        | 87.0  | 3.2         | 87.7        | 85.9  | 1.8        | 2.5            |
| 30～34歳         | 92.6        | 85.3  | <b>7.3</b>  | 86.5        | 83.7  | 2.8        | <b>6.1</b>     |
| 35～39歳         | 91.5        | 88.8  | 2.7         | 86.0        | 83.3  | 2.7        | 5.5            |
| 40～44歳         | 88.9        | 91.1  | <b>-2.2</b> | 86.8        | 85.5  | 1.3        | 2.1            |
| 45～49歳         | 90.5        | 87.5  | 3.0         | 87.4        | 85.7  | 1.7        | 3.1            |
| 50～54歳         | 88.4        | 88.4  | 0.0         | 85.8        | 84.9  | 0.9        | 2.6            |
| 55～59歳         | 85.8        | 85.5  | 0.3         | 82.6        | 80.9  | 1.7        | 3.2            |
| 60～64歳         | 73.0        | 67.6  | 5.4         | 72.5        | 67.3  | 5.2        | 0.5            |
| 65～69歳         | 51.9        | 47.0  | 4.9         | 50.9        | 45.5  | 5.4        | 1.0            |
| 70～74歳         | 35.6        | 31.6  | 4.0         | 33.3        | 29    | 4.3        | 2.3            |
| 75歳以上          | 11.8        | 11.3  | 0.5         | 11.4        | 10.4  | 1.0        | 0.4            |
| (再掲)<br>15～64歳 | <b>79.8</b> | 77.5  | <b>2.3</b>  | <b>78.3</b> | 76    | <b>2.3</b> | <b>1.5</b>     |

【その他の主なデータ】

(%、ポイント)

| 区 分   | 鳥取県           |               |      | 全国   |       |      | 参考<br>(令和4年の他県状況)                       |
|---|---------------|---------------|------|------|-------|------|---|
|   | 令和4年          | 平成29年         | 増減   | 令和4年 | 平成29年 | 増減   |   |
| 生産年齢人口(15～64歳)の有業率<br>(「調査結果」2ページ)                    | 79.8<br>(10位) | 77.5<br>(11位) | 2.3  | 78.3 | 76.0  | 2.3  | 1位 福井県<br>2位 富山県<br>3位 長野県              |
| うち男性  | 82.9<br>(25位) | 81.2<br>(42位) | 1.7  | 83.6 | 83.3  | 0.3  | 1位 岐阜県<br>2位 静岡県<br>3位 東京都              |
| うち女性  | 76.6<br>(5位)  | 73.6<br>(6位)  | 3.0  | 72.8 | 68.5  | 4.3  | 1位 山形県<br>2位 福井県<br>3位 富山県              |
| 雇用者(会社などの役員を除く)に<br>占める正規の職員・従業員の割合<br>(「調査結果」9ページ)   | 64.9<br>(11位) | 64.5<br>(13位) | 0.4  | 63.1 | 61.8  | 1.3  | 1位 富山県<br>2位 山形県<br>2位 東京都              |
| うち若年者(15～34歳)   | 71.6<br>(21位) | 70.6<br>(14位) | 1.0  | 69.7 | 67.1  | 2.6  | 1位 山形県<br>2位 香川県<br>3位 秋田県              |
| 育児をしている者の有業者<br>(「調査結果」23ページ)                         | 93.4<br>(1位)  | 86.7<br>(7位)  | 6.7  | 85.2 | 79.2  | 6.0  | 1位 鳥取県<br>2位 山形県<br>3位 島根県              |
| うち男性  | 100.0<br>(1位) | 99.0<br>(21位) | 1.0  | 99.0 | 98.9  | 0.1  | 1位 鳥取県<br>1位 山形県<br>3位 栃木県              |
| うち女性  | 88.0<br>(1位)  | 77.2<br>(7位)  | 10.8 | 73.4 | 64.2  | 9.2  | 1位 鳥取県<br>2位 山形県<br>3位 島根県              |
| 出産・育児を理由に<br>前職を離職した者の割合(過去1年間) (注1)<br>(「調査結果」25ページ) | 2.1<br>(39位)  | 2.9<br>(42位)  | -0.8 | 2.7  | 3.9   | -1.2 | 47位 青森県<br>46位 和歌山県<br>44位 神奈川県、<br>高知県 |
| うち女性  | 3.9<br>(37位)  | 5.2<br>(42位)  | -1.3 | 4.6  | 6.9   | -2.3 | 47位 青森県<br>45位 岩手県<br>45位 熊本県           |
| 介護をしている者の有業率<br>(「調査結果」26ページ)                         | 59.6<br>(12位) | 57.4<br>(12位) | 2.2  | 58.0 | 55.2  | 2.8  | 1位 福井県<br>2位 富山県<br>3位 山梨県              |
| うち男性  | 65.8<br>(25位) | 67.3<br>(14位) | -1.5 | 67.0 | 65.3  | 1.7  | 1位 富山県<br>2位 山梨県<br>3位 山形県              |
| うち女性  | 55.7<br>(6位)  | 51.7<br>(12位) | 4.0  | 52.7 | 49.3  | 3.4  | 1位 福井県<br>2位 富山県<br>3位 佐賀県              |
| 介護を理由に前職を離職した者の割合<br>(過去1年間) (注1)<br>(「調査結果」27ページ)    | 2.1<br>(25位)  | 1.9<br>(25位)  | 0.2  | 1.9  | 1.8   | 0.1  | 47位 京都府<br>46位 石川県<br>45位 茨城県           |
| うち男性  | 1.1<br>(22位)  | 1.1<br>(20位)  | 0.0  | 1.1  | 1.0   | 0.1  | 44位 大分県<br>44位 徳島県<br>44位 秋田県           |
| うち女性  | 2.9<br>(23位)  | 3.5<br>(13位)  | -0.6 | 2.6  | 2.4   | 0.2  | 47位 京都府<br>46位 茨城県<br>45位 新潟県           |
| 夫婦共働きの世帯の割合<br>(「調査結果」29ページ)                          | 54.6<br>(11位) | 54.9<br>(7位)  | -0.3 | 50.9 | 48.8  | 2.1  | 1位 福井県<br>2位 山形県<br>3位 長野県              |
| テレワークを実施した割合(注2)<br>(「調査結果」33ページ)                     | 8.0<br>(39位)  | -             | -    | 19.1 | -     | -    | 1位 東京都<br>2位 神奈川県<br>3位 千葉県             |

(注1) 順位が低いほど離職した者の割合が低い。

(注2) テレワークを実施した割合は不詳の者を除いて算出。

